

平成24年8月7日

## 2012-8月以降の評価に係る変更点

### ◎ 遺伝性疾患検査結果の表記方法を変更

種雄牛の遺伝的能力評価結果に係る付帯情報として、BLAD（Bovine Leukocyte Adhesion Deficiency：牛白血球粘着性欠如症）及びCVM（Complex Vertebral Malformation：牛複合脊椎形成不全症）の検査結果を掲載しています。これまで、それぞれの保因牛をBL、CV、正常牛をTL、TVのように2文字で表記していましたが、平成24年4月から（社）日本ホルスタイン登録協会が発行する血統登録証明書等への表示を、WHFF（World Holstein Friesian Federation：世界ホルスタインフリージアン連盟）が推奨する表記方法に基づいて変更したことに伴い、遺伝性疾患を示す2文字に、保因牛を示すC、正常牛を示すFを付した3文字の表記に変更します。なお、海外種雄牛の評価では、2012年4月から3文字で表記しています。

		旧表記方法	新表記方法
BLAD	保因牛	BL	BLC
	正常牛	TL	BLF
CVM	保因牛	CV	CVC
	正常牛	TV	CVF

### ◎ ブラキスパイナ検査結果の掲載

新たな遺伝性疾患であるブラキスパイナ（Brachyspina：牛短脊椎症（仮称））について、種雄牛所有者より精液供給可能種雄牛等に係る検査結果の提供を受けましたので掲載します。

ブラキスパイナは、BLADやCVMと同様に常染色体単純劣性の遺伝性疾患であり、両親が保因牛であった場合1/4の確率で流産や死産となります。

検査結果は、ブラキスパイナを示すBYに、保因牛はCを加えBYC、正常牛はFを加えBYFと表示しています。